

令和5年7月吉日 所長 海老澤政昭

梅雨空が続き、体調を壊しやすい時期です。そんな中、地域での行事等がようやくコロナ以前の賑わいを戻しつつあります。6月中旬には吉原祇園祭が行なわれました。7月、8月にも各地域での夏まつり、富士まつりが予定されています。しかしながら、コロナが撲滅したわけではありません。梅雨明け後には、また、大きな流行になるといわれています。コロナ以前の活動が増えてきますが、十分に感染予防をしておこなっていきましょう。よろしくご協力をお願いします。

さて、ジャガイモの販売協力ありがとうございました。ほぼ完売のようです。根菜類では、次は秋のサツマイモ、サトイモですね。楽しみに待っていてください。

さて、「障害者の権利に関する条約に対する対日審査の総括所見」から考える」という記事を読む機会がありました。この総括所見は2022年9月に示されたものであるため、概要については承知していますが、あらためて、今回の記事のポイントを紹介したいと思います。

「自立した生活と地域社会への包容」では、「障害児を含む障害者の施設入所を終わらせるため、障害者が地域社会で自立して生活するための整備や支援に再分配することについて、迅速な措置をとること」となっています。できる限り家庭で生活できる体制、より家庭の形態に近い小規模な居住施設、そして、地域社会の一員として生活できる、いわゆるインクルーシブな地域社会が求められています。

令和4年度まとめの中の『原点に立ち返って考える』で再確認した「私たちの願い」とは、「重い障害をもった子どもたち、仲間たちも立派な生産者であることを認め合う社会を作ろうということ。」(糸賀一雄)であり、これはまさに、インクルーシブな地域社会を作ろうということになります。

社会福祉法人ゴウディングコミュニティにおける「経営理念の原則等」には「この法人は、地域社会に貢献する取り組みとして、地域の高齢者、子どもたち等々を支援する・・・」の具体的行動計画として「生活及びB型の仲間たちを小グループに分け、地域の独居老人又は高齢夫婦世帯においてのお手伝い（庭そうじ・買物支援等々）の積極的導入について検討していく。」とあり、理事会及び評議員会を通して確認しつつ、少しずつ歩み始めたところです。この活動がインクルーシブな地域社会の創造につながっていくものと信じています。今年から始まった第2期10か年計画を進めていく中で、新しい創造が生まれるかもしれません。そのためには様々な分野からの情報や知恵が必要です。ご協力をお願いします。

宍戸幽香里氏におけるコンサルテーションを実施

令和5年度、第1回目の通所生活介護におけるコンサルテーションを6月27日(木)に実施しました。毎年3回行われており、支援における重要ポイントや支援員として仲間たちにどう向き合うかなど、毎回勉強になることがたくさんあります。今回は、女子の星グループを中心にコンサルテーションを行いました。洗車作業やスヌーズレンなども同席していただき、メインの音楽療法の時間では、楽しい時間を過ごすことができました。一日を通して、評価と課題を頂き、改善策を模索しながら、今後の支援に役立てていきたいと思いました。「先生が来られると仲間たちはとても落ち着いて作業に向かうことができるね」と、支援員は言いますが、支援員らがその日はいつもとは違う視点で仲間たちを見ることができ、それらプラスの行動が仲間たちに伝わるのだと感じます。所謂「支援員が変わることで仲間たちも変わっていく」と、言うことに視点を置くことも振り返りの一つですね。今回も横浜からいらしていただき、大変ありがたく感謝いたします。次回の実施日まで支援員同士協力し合いながら支援の継続を進め仲間たちにとってプラスの支援を継続していきたいと思っております。



【編集後記】

じめじめと蒸し暑い日が続きます。お天気の良い日は、仲間たちと公園などの木陰でリフレッシュしたいですね。今年も恒例の水遊びが待っています(^_^)お楽しみに！